女性は太陽

鈴鹿市議会議員（日本共産党）
発行 2016 年 9 月 1 日　248 号
森川ヤスエの市政だより
鈴鹿市矢橋 3-10-34 電話：384-3740,
fax:384-2907
URL: http://blog.ymorikawa.net/

もう限界！わたし払えない！
シンママ（シングルマザー）さんの声

平和のメッセージ展会場で

八月一日に地域福祉委員会が開かれ、国民健康保険事業について国保広域化も含めて現状の報告が行われました。

納付書の通知が届いた市民からの問い合わせが殺到

値上がりした納付書を発送して、届いた頃の七月一三日から二八日間に「保険税額は間違いではないか」「こんなに急激な値上げはどういうことだ」などの問い合わせが殺到したようです。この間窓口で対応された件数は二三三件、電話での対応をあわせると四三七件だったそうです。特に一九日は一日中電話が鳴り続け、他の相談も合わせると二六〇件の窓口での対応を求められたそうです。

毎年少しづつ値上げしたら、負担の重さは減るのでしょうか？

六年間値上げをしなかったから、大幅値上げになったとの反省弁がありましたが、年金生活のみなさんは収入は増えませんから一気に値上げしようが、時間をかけて値上げしても結局どこかで負担の限界が出てきますので、負担の限界への対応、一般会計からの繰り入れを検討することが大事だと思います。

医療改悪の始まり？国民健康保険広域化

二〇一八年（平成三〇年）から都道府県が財政運営の責任主体となり、安定的な財政運営や効率的な事業の確保等の国保運営に中心的な役割を担い、制度の安定化をと言って始まります。私たちの保険証は発行元は「三重県」になります。

市町は仕事は減らずに管理だけされる？

実際はどうも違う。①保険証の名前は三重県、②「国保納付金」という形で市町へ必要医療費の負担を求め、③市町に標準保険税（料）を示して保険税額に関与する。しかし実際の仕事は今まで通り市町が行います。保険証（三重県の名前）の発行発送、保険給付、納付書の発送や収納業務、納税相談等これまで通り鈴鹿市で行います。

県の仕事は金額を決めて請求するだけ

「給付に必要な費用は、全額、都道府県が市町村に交付」と説明されるが、「国保納付金」という名目で県が市町ごとに決定して請求する。県から請求される納付金は必ず期日までに支払わなければなりません。金額を決めて請求するだけで財政に責任を負う仕事と言えるのでしょうか。

広域化で構造的な問題は何も解決しない

加入者の年齢が高く医療費が高くなることは避けられず、年金暮らしや子ども、所得が低く負担能力の弱いなど構造的な財政の脆弱（ぜいじゃく）性はなにも変わらないのです。

一般会計からの繰り入れは避けられない

県から医療費負担額を求められれば、集金できなくても決められた額は全額支払わなければならなくなります。滞納が増えるとその分を補うための対応として、保険税の値上げをさらに繰り返すか

一般会計から繰り入れるかが待ったなしに求められます。

現在の負担増は限界を超えていることを認識して、一般会計からの繰り入れのルールをそれまでにきちんと確立することはどうしても必要です。

九月議会が始まりました。

八月二九日九月議会が始まり上程された議案に嬉しい議案と残念な議案があります。

嬉しい議案

中学生まで医療費無料の条例案が提案されました。

長い間運動を続けてきた子どもの医療費義務教育の間の無料化が実施されるための条例案が出されています。可決されると本格的に四月からの実施に向けて準備が始まります。今後は窓口無料化の運動をさらに広げ三歳までを中学生まで引き上げさせるためみなさんとともに引き続き求めて行きます。

地域の幼稚園がなくなる。寂しいですね。

残念な議案は中学校区単位に統廃合を進めている事業が着々と進められ「長太幼稚園」が廃止される条例案です。

消防自動車更新

その他災害対応特殊化学消防ポンプ自動車の更新議案が出ました。東分署（中箕田にある分署）に配置されます。最後のＮＯｘ・ＰＭ法（自動車排出窒素酸化物）規制の対象自動車でしたからこれですべてＮＯｘ・ＰＭ法基準に合致した自動車がそろいます。今回のポンプ車の主な装備は泡混合装置、泡消化薬液、水槽、放水銃、特殊耐熱防火服、化学防護服、空気呼吸器、三連はしごだということです。

八月はやっぱり平和について考えるとき 平和を守る行事に参加

まず核廃絶を願う原水爆禁止鈴鹿市協議会の街頭署名活動と原爆写真展が市民ギャラリーで開催され、九条の会主催の「戦争なんか大きらい！平和のメッセージ展」が図書館視聴覚室で開かれました。どちらも半日だけですがお手伝いをさせていただきました。どちらも多くの市民が参加くださって平和への思いを共有していただけたことがうれしいです。さらに一五日には終戦記念日の街頭宣伝に出掛けました。

私たちは核廃絶の願いを託されている

写真展は 今年は特に感慨深いものがありました。七一年目にやっと黒こげの男の子の名前が「谷崎昭治」さんではないかとわかったという記事です。やっと家族のもとへ帰れるんですね。原爆という恐ろしさを訴え続けている少年から私たちは核廃絶の願いを託されているんだと思うと署名活動は出来る限り行かなければと思います。

戦（いくさ）嫌いな沖縄を知って、応援してほしいです。

一五日の終戦記念日特集では故郷でのことがＮＨＫＢＳで放映されました。ドキュメンタリーのタイトルは「ラストアタック」

二五日、一部地域で放映された「米軍が最も恐れた男～あなたはカメジローを知っていますか？」をネットで見つけて見ました。機会がありましたら是非見てほしいです。そして沖縄を応援してほしいです。

「ラストアタック」に出てくる特攻隊は作家の城山三郎さんの「指揮官たちの特攻」（新潮文庫）に書かれています。

２０１６年　森川ヤスエ　８月のあゆみ

1	地域福祉委員会出席、他	17	相談活動、会議、ニュース配布活動
2	ニュース原稿作り	18	全国地方議員交流会参加（福岡）
3	相談活動	19	全国地方議員交流会参加（福岡）
4	相談活動	20	会議、日本と原発４年後」映画鑑賞、神戸灯りのイベント参加
5	党創立９４周年記念講演会視聴、会議	21	「みんなで考えよう子どもの貧困」学習会参加、会議
6	会議他	22	商工会議所建設部会意見交換会参加、ニュース配布活動
7	休み	23	平和のメッセージ展準備等参加、相談活動
8	原爆写真展準備、葬儀参列	24	社会保障学習会参加（津市）、
9	６．９核廃絶街頭署名活動、原爆写真展当番活動、	25	ニュース配布活動、調査活動、他
10	ユース配布活動、他	26	議員団議案検討、会議
11	ニュース配布活動、他	27	平和のメッセージ展当番活動、他
12	全員協議会出席、会議、ニュース配布活動	28	平和のメッセージ展片付けなど手伝い、他
13	ニュース配布活動	29	議会開会日、質問打合せ等
14	ニュース配布活動	30	ニュースづくり
15	終戦記念日宣伝活動、他	31	ニュース印刷作業、質問打合せ等
16	ニュース配布活動		

日本共産党は、侵略戦争に反対をつらぬいた唯一の政党。そして天皇絶対の世の中で、堂々と国民主権をかかげた。こうした主張のために「治安維持法」で大弾圧をうけることになった。